



ほふる

建設的な生き方へのお手伝い (Just do it !)
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】サービスを超越の瞬間
高野 登 著 かんき出版
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2012年5月1日 Vol.115
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

未来都市

私たちがまだ小学生だった頃、日本の未来予想図は光り輝いている社会が来るのだと思っていました。手塚治虫さんの漫画を見ては、私が大人になった頃には車は空中に浮上して進み、行き先をセットすれば運転をしなくても自動で行けると信じていました。

昭和の頃に誰もが夢見た「未来」の21世紀に私たちは今生きています。2012年の今日、21世紀になって10年以上が経っていますが「未来」の姿はまだどこにもありません。

横浜にある「みなとみらい21」には、日本一高いビル高さ296mの「横浜ランドマークタワー」があります。「21世紀にふさわしい未来型都市」を目指してまちづくりがスタートしました。東京をはじめいろんな所で未来都市が実現化しなくても、横浜のみなとみらいという場所だけは最先端の未来都市に近づいていくという期待がありました。

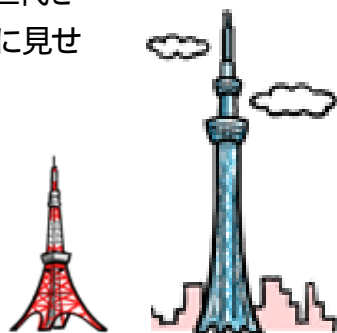
今月には高さ634mの「東京スカイツリー」が東京都墨田区にオープンします。21世紀の近代科学を駆使した最新鋭の人工建造物が地上にそびえ立ちます。

しかし、昭和33年(1958年)から東京都港区に今もってそびえ立っている「東京タワー」(332.6m)とどこか本質的に変わるものはあるのでしょうか…。

東京スカイツリータウンを構成する「東京ソラマチ」には、310店舗の商業施設があるとは言え、昭和の匂いの残るショッピングモールです。私たちが未来を創造するに、度肝を抜かれるほどの感動がある「ソラマチ」とはどんなものなのでしょうか。非現実と思われたものが目の前に現れる。例えば、「高い空に浮いているショッピングモールがあり、そこには世界の国々と交流ができ、また、宇宙との交信が持てる空間」というような施設であるとか。

科学や技術が進歩していることは確かだと思うのですが、次世代を担う子どもたちが、ワクワクドキドキするような“感動”を、目の前に見ることが、未来を創っていく大きな原動力になるのだと感じます。

昭和生まれの私が夢見た「未来」はまだまだ目の前には現れませんが、インターネットがなかった時代から考えれば大きな進歩です。マウスをクリックするだけで別の場所へ移動できる時代が来るかもしれませんね。



やる気

人は「やる気満々」で生まれてくるそうです。発達心理学では、生まれて1歳前後になると「言葉の爆発期」と呼ばれるほど脳や筋肉の動きが活発になります。

目に見えるものすべてに対して興味を持ち執着します。テレビのリモコン、財布、そして携帯電話を眺めては、口にくわえたり舐めたりしています。好奇心はとどまることを知りません。皆さんも乳幼児を観察してみて、面倒くさそうに、そして、憂鬱そうに遊んでいるのを見たことはないと思います。人はみな、意欲や好奇心に満ち溢れて生まれてくるのです。

しかし、人は大人になるとその「意欲」をなくしてしまいます。なぜこんなことが起こるのでしょうか。大人になるにつれ、いろんな経験や体験をしていきます。「何をやっても望む結果が得られない」「騒音などの嫌悪的な刺激を自分自身では制御できない」「解決不可能なパズルを解けると偽って解かせる」などの経験から人は簡単にやる気をなくしてしまいます。

人は、頑張ることで物質的な報酬や評価を得ようとする外発的意欲と、仕事や遊びに面白さや充実感、そして、使命感などを感じて頑張る内発的意欲がある。一般的に、内発的意欲によって動いているときの方が集中力は高く、ミスも起こしにくく、良い結果を出すことがわかっています。しかし、せっかくやりがいを感じて仕事をしているときに、ちょっとした物理的な報酬を与えられると「やる気」に水をさされてしまう可能性があります。人間って難しいですね。



「COMPANY TANK カンパニータンク」
という雑誌の取材を受けました。
俳優の大門正明さんと対談しました。詳しい
内容は当社ホームページをご覧ください。

HP <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>